

1 社会の要請に応える体験活動等事業
ア 親子・幼児等を対象に自然体験や読書
活動などに親しむ機会と場を提供する事業

タラッキーキャンプ ～しぜんを“たんけん”しよう！～

〔主催〕国立諫早青少年自然の家

〔期日〕1回目:令和4年9月3日(土)～4日(日) 2回目:令和4年10月8日(土)～9日(日)

〔活動場所〕国立諫早青少年自然の家

〔参加者〕小学1・2年生及び保護者

1回目:児童27名(男子17名、女子10名) 2回目:児童25名(男子7名、女子18名)

〔講師〕1回目:戎 佐知子(絵本専門士) 2回目:戎 佐知子(絵本専門士)、鈴木 みゆき(國學院大學教授)

〔担当職員〕1回目:西田 尚由、小野 栄策、宇都 志津佳、稲原 諒馬

2回目:西田 尚由、高山 雄也

1)趣旨

五感で楽しむ自然体験、絵本の読み聞かせや絵本についてのワークショップ等を通して、絵本に親しむとともに自然に親しむ心を育む。また、規則正しい生活を送り、「早寝早起き朝ごはん」の定着を促すとともに、児童一人一人の自立心を育てる。

2)目標

- ① 初めて出会った新しい仲間と仲よく活動する。
- ② 初めて1人での宿泊を体験する児童も少なくないことが考えられるので、食事や入浴等のマナーを学び、規則正しい生活を送ることができる。
- ③ 活動につながるような絵本を導入に活用することで、絵本と自然体験活動等に親しむ心を育む。

3)プログラム

1日目	2日目
13:00 受付	6:30 起床
13:30 はじまりの会	6:50 ラジオ体操
絵本読み聞かせ 【写真①】	7:00 朝食(レストラン)
仲良くなるゲーム 【写真②】	8:00 部屋清掃・荷物整理
14:30 野外活動	9:00 クラフト作成
1回目:沢探検 【写真③】	1回目:ストーンアート 【写真⑨】
2回目:森探検 【写真④】	2回目:ネイチャークラフト【写真⑩】
17:00 夕食(レストラン) 【写真⑤】	※10:00～ 絵本についてのワークショップ
18:00 入浴	【保護者のみ】
19:00 ベッドメイキング 【写真⑥】	(絵本の効果や読み聞かせの方法につ
20:30 1日の振り返り	いて) 【写真⑪⑫】
20:30 絵本読み聞かせ 【写真⑦⑧】	11:00 おわりの会
21:00 就寝	11:30 解散

4)事業展開

① 絵本読み聞かせ



各活動の前に導入として講師による絵本の読み聞かせを行いました。子ども達は毎回の読み聞かせを楽しみにしており、反応も良く、集中して聞くことができました。2日間で合計6～7冊の絵本を読みました。

③ 野外活動(1回目:沢探検)



天気が心配でしたが、無事に沢登りを実施できました。みんなで協力し、無事にゴールすることができました。途中、翌日のクラフトで使う石を収集しました。

⑤ 食事



食事は、食べ残しが無いように自分が食べられる量を判断しながら配膳しました。好き嫌いせず、バランスよく配膳する参加者もいました。

② 仲良くなるゲーム



初めて出会った子ども同士がお互いに自己紹介を行い、名前を覚えるゲーム等、仲間づくりを行いました。学年や性別に関係なく、みんな楽しく活動できました。

④ 野外活動(2回目:森探検)



フィールドビンゴを行いました。活動班で協力し、自然を感じながら、たくさんのビンゴをそろえることができました。途中、翌日のクラフトで使う木の実や木の枝、葉っぱ等を収集しました。

⑥ ベッドメイキング



あまり経験したことがない、慣れない活動でしたが、“自分でやる”ということを意識しながら、一人一人が一生懸命に頑張りました。ボランティアスタッフも補助しながら就寝準備をすることができました。

⑦ 就寝前の絵本読み聞かせ(1回目)



⑧ 就寝前の絵本読み聞かせ(2回目)



1日目の活動終了後に、就寝前の絵本の読み聞かせを行いました。1回目は講師により全員一斉に実施しました。読み聞かせの後には落ち着いた雰囲気になりましたが、部屋へ移動する際に気分が高揚した参加者も多くみられました。この課題を改善するため、2回目は各部屋ごとに分かれて、ボランティアやスタッフによる読み聞かせを実施することで、読み聞かせの後も落ち着いた状態で就寝を促すことができました。

⑨ クラフト作成(1回目)



⑩ クラフト作成(2回目)



キャンプの思い出として、クラフト活動を行いました。1回目はストーンアート、2回目にはネイチャークラフトを行いました。材料の石や木の実等は、前日の野外活動で収集した物を使用しました。一人一人が個性的な作品を作成しました。おわりの会において、作品の説明をグループ内で発表し合い、その様子を保護者に見てもらいました。

⑪ 絵本についてのワークショップ(1回目)



講師(戎氏)より参加者の保護者に対して絵本の効果や読み聞かせの方法等についての講話、折り紙を使って葉を作るワークショップを行いました。保護者の方の意識も高く、講話終了後にも積極的に講師へ質問をする様子も多く見られました。

⑫ 絵本についてのワークショップ(2回目)



講師(鈴木氏)より参加者の保護者に対して絵本や読書の読み聞かせの効果等についての講話を行いました。様々な研究データを基に、分かりやすく、また、面白い語り口が好評で、参加者全員、最後まで楽しく話を聴くことができました。

5) 評価

① アンケート結果(事業全体に対する満足度)

	1回目	満足	やや満足	やや不満	不満
参加児童	95%	5%	0%	0%	
保護者	88%	4%	4%	4%	
	2回目	満足	やや満足	やや不満	不満
参加児童	96%	4%	0%	0%	
保護者	83%	17%	0%	0%	

② 参加者の声

- ・沢登り等、家族では体験しにくいことにチャレンジさせることができた。
- ・身体を使ったり、自然と触れ合って五感を使って活動したり、とても魅力的だった。
- ・自分で考えて準備ができるようになり、成長を感じた。
- ・キャンプのタイムスケジュールが詳しくわからず、心配だった。
- ・子どもたちと本を読む時間の大切さ、基本的な生活習慣の必要性を改めて感じた。また、睡眠についても考え直すいい機会になった。

6) 成果と課題

① 成果

- ・“活動ごとに導入部分で絵本の読み聞かせを行う”という初めての試みに挑戦したが、絵本専門士の先生と連携しながら、効果的に絵本の読み聞かせを行うことができた。
- ・子どもたち一人一人が“できることは自分です”ということ意識しながら、最後まで頑張って活動することができた。
- ・これまでの事業では、子どもたちのみの活動が中心となるものが多かったが、今回は、保護者にも学んでもらう機会を設定し、絵本や読み聞かせの大切さを理解し、意欲を高めることができた。

② 課題

- ・“小学校低学年の子ども”という対象者理解が不十分だったため、予定していた以上に時間を要してしまい、プログラム通りに日程を進めることができず、周囲へ迷惑をかけることもあった。
- ・ストーンアートに適した石を施設周辺で集めることができず、活動が難しかったが、参加者は楽しみながら、個性的な作品を制作することができた。
- ・今回、“絵本についてのワークショップ”は保護者に対してのみの活動として実施したが、親子で一緒に取り組むような活動を取り入れることも検討してみたい。



目標4 質の高い教育をみんなに

絵本にふれる体験を通して、読書活動の推進を図ります。



目標15 陸の豊かさも守ろう

自然体験を通して、川や森林の美しさ、生態系を守ることの大切さを考えます。食事指導において、食品ロスにならないよう、自身の食べる量を適切に判断できるようにする。